

やってみんけ? みんなで楽しく! PTA活動!!

「PTA役員なんて大変だし、自分がそんな立場に立てるはずもないし、私なんか出来るようなものでもないから...絶対に無理...」このような思いを心にひめている方は少なくないのではないだろうか...実は私もその中の一人でした。そんなイメージを「少しでも崩すことは出来ないだろうか...役員という立場に立ったことの無い私が立つことで...」私の中のこんな思いが母親委員長を務めるきっかけとなりました。

中学校の母親委員長、市P母親委員長を務める中で思っていた通りにそれ以上に大変でした。委員長が中心となり委員活動の実施、委員長が代表となり市Pや県Pの委員活動への参加などと初めてのことはかなり緊張の嵐でした。しかし、そんな中でも役員メンバーの方々や先生方に地域の方々や沢山の人間に支え助けて頂きました。人のあたたかさを心から感じました。人のかかわりを苦手としていた私にとっては大きな大きな成長となりました。

役員という立場に立たせて頂き感じたことがあります。PTA組織の中でも活動的な積極的な親御さんがいれば、うまく輪に入れない消極的な親御さんとの他にもそれぞれにさまざまな親御さんがおられるかと思いますが...どんな親御さんでも皆、「子を持つ親」ですよ。子育てや教育に対して共感し合ったり、情報交換したりと共存共栄することのできる、とても心強い輪なのではないかと私は感じています。もし「PTA役員は負担、重荷」と感じてしまっているのがあるのなら、もっともっと保護者全体で保護者一人一人が意識をし、役員を支え盛り上げていく事ができるような心強い輪があれば、負担や重荷はすこしもやわらぎPTA組織にも今よりも更にあたたかいものとなるのではないのでしょうかと私は思います。子ども達の未来のためにも...私達PTAの未来のためにも...

清水 初美

平成26年度母親委員長
平成27年度市PTA連合会母親委員長

親としての想い

PTA活動への素直な思いとその大切さを綴って頂きました。

「子」と「親」と一緒に過ごす時間...自分はおやじ「パパ」おとうさんと3人の子とも達と一緒に一人一人違う呼び方をされます。「おやじ」「パパ」「おとうさん」それぞれ「親父」です。「親」というものは「子」がいて初めて「親」となれると思います。「子」も一人の人として色々な想いや考えを持っています。だから「親」だからといって自分の考えは押しつけたくありません。自分の想いは「子」に希望したいです。その反面「子」の考えや想いも理解するように努力したいです。だから、「PTA」に参加するように努力したいです。

「PTA」の活動は「子」と一緒に出来る行事があり、自分の「子」を通して、まわりの「子たち」も一緒にそして「先生方」、「学校」という環境の中の「子」を見る事が出来る一つの手段だと思います。家では見せない様子も見つけたいと思います。

「中学生」という時期は、とても心も体も不安定な時期だと思っています。そんな時期だからこそ、考えや想いを大事にしてあげたい、そして、理解してあげたいと思います。「家」の中ではその想いも半減すると思います。「子」たちの様々な様子を見る事が出来る「学校」の中に一緒に出来る時間を作りたいたいです。

「PTA」には会長、役員、代議員さん達と先生がいます。でも、その「PTA」にならなくても「子」と一緒に同じ事して同じ想いで何かした「親」がいるのなら、自分と同じ想いの「親」がいるのなら、時間を一緒に作りませんか。ほんの少しでもよいと思います。

中谷 淳一

平成25年度役員
平成26年度会長



変わってゆく事

昨年1年間、母親委員長として活動させて頂きました。PTAとは学校や家庭や地域での子ども達の健全な育成を目的として活動するボランティア組織ですが、子ども達の為ばかりでなく親にとっても地域を知り、人と人との繋がりを大切に出来る「大人のクラブ活動」のような活動だと思っています。役員をして何より良かったのは、巣立ち前の子ども達の成長ぶりを身近に感じられた事です。PTA活動は、口頭家庭では見れない学校生活の中の子どもを知る良い機会となりました。決して大変なだけ、面倒なだけの活動ではありません。ただ私が思う今後のPTAのあり方は「できる人が、できる時に、できる事を」多くの人にPTA活動に関心をもってもらい、多くの人が少しずつ関われる活動が理想だと思います。参加しやすい形態への転換期が、今来ているのではないのでしょうか。

30年前20年前10年前5年前とは社会情勢は大きく変わり、子どもや家庭、学校や先生方を取り巻く環境も大きく変わっています。特に母親の就業については勤務形態や時間も様々です。その傍らの家事育児介護などで、又塾や習い事、高校通学の送迎があったりと多忙を極める母親は多いようです。そんな状況の中でも「家庭や仕事に支障をきたさない範囲で、出来る事は協力したい、ぜひPTA活動してみたい」と思っている方は多数いらっしゃるのではないのでしょうか。

今後山代中PTA活動がより一層活発になる為には、役員は一部の人が負担が掛かり過ぎないように配慮しお互い協力しあい、これから次に続く人達が気持ちよく楽しく活動しやすい環境を整える事が一番の課題ではないでしょうか。

これまでの山代中学校PTAが、子ども達や学校、地域のために貢献してきた活動に最大の敬意を表し、この活動がかわらず一層代中を盛り上げる為には、少しずつ変わっていく事も必要ではないかと思っております。

市川 勝美

平成27年度母親委員長

PTA活動とは

PTA活動とは、皆さんにとって何でしょうか? PTAとは、先生と保護者の方々話し合いを通じて学校を良くすること、そして子ども達の成長を手助けすることだと思っています。また、お子さんが小学校・中学校に在籍してましたら、保護者の皆様はPTA会員の資格があります。ただ、私も最初のPTA活動に對しまして一歩を踏み出す事に躊躇した記憶があります。「仕事が忙しい」とか理由をつけてなるべく参加をしないでおうと後ろ向きでした。しかし、ある日の授業参観の時に、教室での授業風景を見せて頂いた時に、先生方が子ども達の成長に熱心にご教授している風景を見まして、私たち親も何らかの形でお手伝いをする必要はないかと思いい、学校での身近な活動であるこの活動に参加するようになりました。最初は右も左も分からず参加するだけでしたが、年月が経つにつれ大切さも分かってきたと感じています。また、自分自身にとっても有意義な活動ではないかと思っています。保護者の方々の交流を通じて子育てに対していろいろなお意見を聞くこともでき、また価値観の違った新たな発見もありました。何よりも子ども達を良くしたいと思う方々と知り合いになれることが良かった事だと思っています。

私が思うPTA活動は、無理をせずに参加できる範囲で活動してもらえれば良いと思っています。また、一歩を踏み出せない保護者の方は勇気を持って一歩を踏み出してみてください。先生の熱心な姿や多くの保護者の方々の「出会い」や「気づき」があると思います。是非、未来を担う子ども達の為にこの活動に理解を賜りますようお願いいたします。

南出 憲泰

平成24年度PTA会長
平成26・28年度石川県PTA連合会副会長
平成27年度加賀市PTA連合会会長

PTAをもっと楽しく! 有意義に!!

先月実施しました広報部のアンケートに多数のご協力有難う御座いました。詳細な内容は集計調査中ですので次号以降にて順次掲載させていただきます。

アンケート回収数 348件 (有効回答数のみのカウントです)

母親 282、父親 55、他関係者 4

うちPTA経験者 37.64% 未経験者 60.34%

全体で58%以上の方が何かの形でPTA活動に協力したいと思っています事が分かりました。

とても参考になる沢山の意見を頂いております。順次紹介させて頂きながら、改善できる所を皆で考えながら、これからの活動に役立て行ければと思います。

誰でも楽しく

皆さま、こんにちは。昨年度まで娘が在学しており、私もPTAの役員をさせて頂いておりました。その節は色々ご協力を頂き本当にありがとうございました。私事ですが、3年間PTA役員をさせて頂いた皆さま、嫁にも「好きね」と言われております。苦勞はないと言えは嘘になりますが、やはり一番キツイのが、夜間の役員会、休日の掃除、バザーなど、正直時間の拘束を余儀なくされてしまいます。ただ、無理はしませんでした。仕事などで都合が合わず役員会を欠席させていただいたり、遅れて参加したりと、他の役員の方たちや先生の協力をいただきながら、無事務める事ができました。

なぜ私の様な普通のサラリーマンがそこまでして役員を引き受けたのかと言いますと、私の持論で、「PTA役員は誰でもできる、誰でもなつて欲しい!」を実証したかったからです。損得で考えたくないのですが、PTA活動に参加する、PTA行事に携わることは、子どもたち、保護者、先生方、地域の皆さんが大きな得に繋がるからです。中学校の校訓で「わたしもみんなも 幸せになる社会をつくる人」があります。PTAが正しくこれではないでしょうか。そして百聞は一見にしかずと言いますが、自分の子どもが学ぶ場所(学校)が今、どのような状況になっているのか、自分の目で確かめる事ができるからです。どんな先生がいらっしゃって、どんな学校の雰囲気なのか、一目瞭然です。だからこそ、もっと多くの方々に学校に関わって、来て、そして見てもらいたいと思います。そのきっかけがPTA役員になつてもらう事でした。その為には、PTA役員が誰にでもなれる事が必要だと思いい、誰でもなれる事を自ら実証しました。どうぞ、肩肘張らず、そんなに責任感を持たず、気軽にPTA活動役員に協力をしていただければと思っております。こんな私にでもできるPTA役員なんですから。

当時お世話になりました、役員の方々や先生方、この場をお借りして感謝を申しあげます。

天田地 広隆

平成25年度役員
平成26年度総括委員長
平成27年度総括委員